

蓄電池本体 JH-WB2521



QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標、または、登録商標です。
【製造元】シャープ株式会社

安全な設置作業及び安全にご使用いただくために必ずお読みください。また、詳細は最新の設置工事マニュアルに従ってください。

- (蓄電池連携型パワーコンディショナ、一体型パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナ、太陽電池パワーコンディショナのいずれかに当てはまる場合は、パワーコンディショナと表す。)
- ◆設置工事を始める前に、必ずこの設置工事説明書と設置工事マニュアルをお読みになり、正しく安全に設置してください。
- ◆蓄電池本体の電気工事をおこなう場合は、第一種または第二種電気工事士の資格を保有し、電気設備・機器の設置に適用される全ての法規、規格に関する知識を有する人がおこなってください。また、本書の内容および、設置に関する全ての安全上の注意を理解して設置をおこなってください。
- ◆工事中に異常を発見した場合は、速やかに工事を中断し販売会社または弊社までご連絡ください。
- ◆ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- ◆施工点検の絶縁抵抗測定に使用する絶縁抵抗計は、直流メガー (500V) を使用してください。
- ◆本書に記載されていない設置や施工をおこなったことが原因で故障が生じた場合、保証の対象外となります。

○誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分しています。	⊘ してはいけないこと。
⚠ 警告 内装	⚠ 注意
「死亡または重傷を負うおそれがある」	「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。
⚠ 注意	⚠ 注意

警告

電気工事は電気設備技術基準や内線規程および労働安全衛生規則を守り、絶縁用保護具 (低圧用ゴム手袋) を着用、または活線作業用器具を使用し、正しく安全におこなう。
火災・感電・けがのおそれがあります。

作業前に端子台に電圧が印加されていないことを確認する。
パワーコンディショナとの接続が完了しても運転開始まではパワーコンディショナ専用ブレーカーとパワーコンディショナ本体のDCスイッチは「OFF」にしておく。
感電・けがのおそれがあります。

本製品は重量物のため、荷積み・運搬・組立て・設置工事時は安全に十分注意する。人手で運ぶ際は必ず二人以上でおこなう。重量に耐えられる場所、転倒・落下のおそれが無い平らな場所、振動・衝撃の少ない場所に設置工事マニュアルで規定した方法で設置面に適切に固定、保管する。
けがのおそれがあります。

本製品の運搬、設置工事のときには製品、建屋、設置場所に傷等が付かないように運ぶ。
また、ボルト (4箇所) で以下に固定する。
(屋外設置時) コンクリート基礎 (簡易基礎、本基礎)
(屋内設置時) 屋内設置用金具
製品の故障、家屋の損壊のおそれがあります。

設置工事マニュアルで規定されている防水処理を実施する。
製品内部に水分や腐食性物質が浸入したり、温かく湿った空気が流入したりすることによって製品内部が結露してしまい、発火・発煙・感電・機能障害・停電のおそれがあります。

本製品は万一の感電を防止するため、および落雷の被害を軽減するためにアース端子を使用し、必ずパワーコンディショナ、蓄電池用コンバータと共用アースとなるように設置する。
火災・感電・けが・外来ノイズによる誤動作のおそれがあります。

足場がぬれた状態や手や身体がぬれた状態での作業はしない。
感電・けがのおそれがあります。

設置工事マニュアルで規定した以外の分解・改造・修理・筐体の穴加工および修理はしない。
内部には高電圧の箇所があり、感電・けがのおそれがあります。また、安全の保証ができません。

ケーブルを破損させない。水没品、浸水品を使用しない。
感電・故障の原因となります。

本製品を袋でおおわない。
内部の温度上昇が発生し、本来の性能が発揮できなくなるとともに、部品が劣化して、発煙・発火のおそれがあります。

輸送時は、雨などで濡らさない、大きな振動、衝撃を加えない、また、落下・転倒させない。
故障の原因となります。

注意

設置用部材、配線用部材は、必ず同梱のもの、もしくは、設置工事マニュアルで指定のものを指定数量使用する。
機器本来の性能が発揮できず、故障の原因となる場合があります。

本製品到着後、速やかに設置する。
蓄電池は保管中でも寿命・性能が低下します。故障の原因となります。

本製品内に、雨水が入らないように施工する。
感電・故障の原因になります。

塗装したり、薬品 (シンナー等) で拭いたりしない。
塗装性能が変わって耐候性が悪くなり、故障の原因となることがあります。

上に乗ったりぶら下がったりしない。上にものを置かない。
落下・転倒して、けがのおそれがあります。

船舶・飛行機・移動用車両には設置しない。
予期せぬ動作をするおそれがあります。

インパクトドライバーは使用しない。
高トルクをかけると摩擦熱が生じ、ネジ部が膨張して焼き付けを起こす可能性があります。ネジの締めすぎ等により、サービス対応に支障をきたす可能性があります。

製品の中に設置工事マニュアルに記載されていないものを入れない。
故障の原因となります。

警告：設置場所について

湿気が多い場所、湯気のあたる場所に設置しない。
標高2,000m以上に設置しない。風通しが悪い場所に設置しない。
絶縁が悪くなり、火災・感電のおそれがあります。

なるべく周囲温度40℃を超過する場所に設置しない。
部品が劣化して、発煙・発火のおそれがあります。

油煙の多い場所に設置しない。
電気回路や部品が劣化して、焼損・発火のおそれがあります。

腐食性ガスや液体に触れる場所 (鶏舎・畜舎・化学薬品を取り扱うところ等) に設置しない。
電気回路や部品が劣化して、発煙・焼損のおそれがあります。

可燃性ガスなど漏れるおそれのあるところには設置しない。
火災のおそれがあります。

冷気が直接吹き付ける場所に設置しない。
霜が付き、漏電・焼損するおそれがあります。

天地逆にしたり、横に倒したり、傾いた状態で設置しない。
内部の放熱が不十分となり部品が劣化して発煙・発火のおそれがあります。

医療用機器の近くに設置しない。
医療用機器が誤動作するおそれがあります。

閉め切った狭い場所で使用しない。
充放電の停止の可能性があるとともに、部品が劣化して発煙・焼損するおそれがあります。

浸水のおそれのある場所には設置しない。
火災・感電のおそれがあります。

注意：設置場所について

周囲の障害物までの距離は設置工事マニュアル記載の寸法を守る。
十分に放熱ができず、機器本来の性能が発揮できないだけでなく、故障の原因となります。

なるべく日射のあたらない場所に設置する。
日射により内部温度が上昇し、機器本来の性能が発揮できず、故障の原因となります。

低温にならない (-20℃を下回らない) 場所に設置する。
積雪地域への設置は設置工事マニュアルに従って設置する。
機器本来の性能が発揮できず、故障の原因となる場合があります。

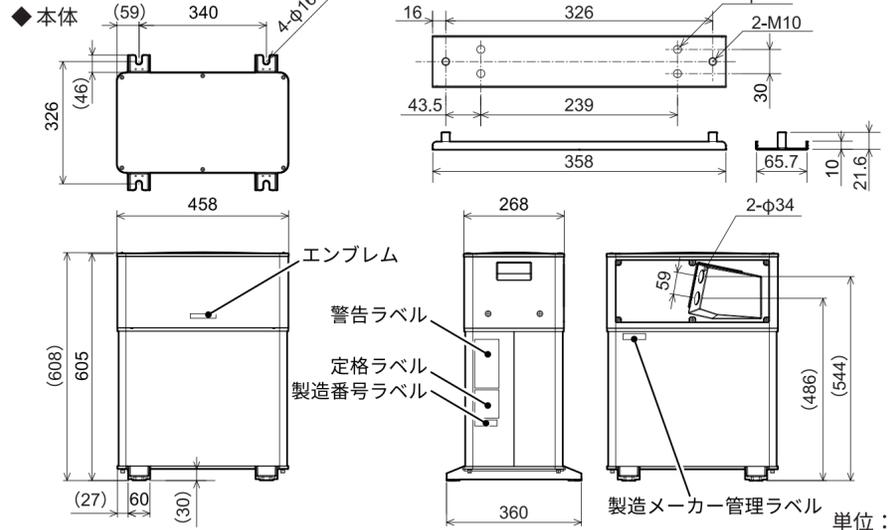
塩害地域に設置しない。
(海岸から500m以内または潮風が直接当たる場所)
砂塵にさらされる地域に設置しない。
故障の原因となる場合があります。

放送局送信アンテナと家庭用受信アンテナとの間に設置しない。
設置場所により、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与える場合があります。

騒音や電氣的雑音の厳しい制限を受ける場所に設置しない。
配線から漏れる電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。

この説明書は植物油インクを使用しています。記載内容は予告なく変更する場合があります。

外形寸法図



◆屋内設置用金具 (JH-WBD05、別売品: 2個入り) ※オプション品です。

仕様

項目	JH-WB2521
品名	蓄電池本体
電池	リチウム二次電池
蓄電池セル数	32個
蓄電池構成	IFpP18/122/360[32S]M-/10+40/90
定格電圧	DC 102.4 V
定格容量	75.2 Ah / 7.7 kWh
定格充放電電力	3.0 kW
蓄電池容量	7.7 kWh
防じん防水性能	IP55
動作温度	-10℃ - +40℃
設置環境温度	-20℃ - +40℃
質量	68kg ※1
設置場所	屋内 / 屋外 (但し、直射日光下は除く)
周波数 / 相数	50 or 60Hz / 単相
保護クラス	クラス I
接地系統	TT ※2
引用規格	JIS C 4412, JIS C 8715-2

※1 蓄電池ケーブル、屋内設置用金具を含まない。
※2 TT以外の接地方式にシステムを接続しないでください。

同梱物

品名	員数	備考
圧着端子 (電力線用)	2個	M5ネジ用 (RNBS8-5) 端子台の+、-に接続 適合電線サイズ: 8mm ²
圧着端子 (アース線用)	1個	M5ネジ用 (RNBS5-5) 端子台のアースマークに接続 適合電線サイズ: 5.5mm ²
絶縁キャップ (電力線用)	2個	黒×1、白×1 (V-8-10) 適合電線サイズ: 8mm ²
絶縁キャップ (アース線用)	1個	緑×1、(TCM-53) 適合電線サイズ: 5.5mm ²
設置工事説明書	1部	本紙
蓄電池システム保証書	1部	複写紙

別売品

品名	員数	備考
蓄電池ケーブル ※	1本	JH-YB102: 10m JH-YB202: 20m
(屋内設置時のみ) 屋内設置用金具	1式	JH-WBD05 固定用ネジ付

※ 配線に20m以上の距離を必要とする場合、設置できません。

製造番号ラベルについて

・本製品の右側面に、製造番号ラベルがあります。
製造番号 (数字12桁) を控えてお客様にお渡しする蓄電池システム保証書に記載してください。長期保証の登録申請にも使用します。

製造番号の例
上記は以下となります。
2026年2月1日
36台目の製造

各端子

端子名	端子形状	備考
端子台	丸端子 (M5)	+、- :蓄電池用コンバータと接続 アースマーク:蓄電池用コンバータの接地端子と接続
通信コネクタ	10Pコネクタ	蓄電池用コンバータと接続
通信コネクタ (シャーシアース)	丸端子 (M4)	蓄電池本体内部の金具に接続 (位置は裏面参照)

ご用意いただく配線

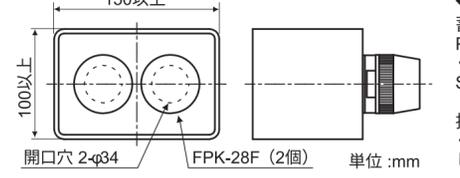
線種	使用ケーブル	端子種類	推奨圧着ペンチ
アース線	IV-5.5mm ² (緑色/黄色または緑色)	RNB5.5-5 (同梱品)	MH-8 (1.25/2/5.5/8)、マーベル製
電力線 (DC)	CV-8.0mm ² ×2心	RNBS8-5 (同梱品)	

◆ケーブルの加工方法

- ①シースの皮むきをおこなってください。(長さは100-120mm)
- ②圧着する前に、絶縁キャップを電線に通してください。
- ③圧着端子を圧着ペンチを用いてカシメてください。圧着の際、カシメ部分から電線を1mm以上出すと、端子台へのネジ締めができなくなります。はみでないように作業してください。
- ④圧着後は、圧着端子のカシメ部が隠れるように絶縁キャップをずらしてください。

ご用意いただく防水関連商品

品名	員数	備考
PF管	適量	蓄電池本体-プールボックス間 (蓄電池本体-蓄電池用コンバータ間)
PF管用コネクタ	4個	蓄電池本体側 :2個 プールボックス側:2個
プールボックス	1個	住宅壁面



ご用意いただく機材

品名	備考	品名
電気工事用ビニールテープ	住友3M (株) #33を推奨	トルクドライバー (またはメガネレンチ)、トルクドライバー、ニッパー、圧着ペンチ、ペンチ、巻尺 (1m以上)、電動ドリル、ホールソー、ウェス等、コードリール、脚立、軍手、低圧用ゴム手袋、保安帽 (ヘルメット)、水平レベル、シーリング材、ワイヤーストリッパー、油性マーカー (黒) 等、デジタルテスター、アーステスター (接地抵抗測定用)
電動ドライバー (ビット付き)	トルク調整範囲: 0.6 - 2.5N・m	
ソケットレンチ	M10、M12用	
スリングベルト	推奨 (傑)テザック製 TBSE0.5TX3M	

屋外設置の基礎工事

◆本紙記載の簡易基礎の同梱物

品名	員数	備考
機器固定用ボルト	4本	溶融亜鉛めっき
ワッシャー (M12用)	4本	
ナット (M12用)	4本	

※本紙記載の簡易基礎を使用しない場合、ボルト (M12、鉄製、長さL50mm)、および、適合するワッシャー、ナットを使用してください。

・コンクリートの本基礎を製作する場合や、本紙、設置工事マニュアルに記載されていない簡易基礎を使う場合は、基礎寸法、アンカーボルト仕様、コンクリート強度、ベース筋などについて、専門の工事業者 (建築士等) と十分ご相談の上実施してください。

・前後左右のスペースがなるべく均等になるように設置してください。

・本製品の重心情報等詳細については、設置工事マニュアルを確認してください。

・アンカーボルト (M12、現地調達品) でコンクリートの本基礎に固定してください。

・簡易基礎を使用する場合

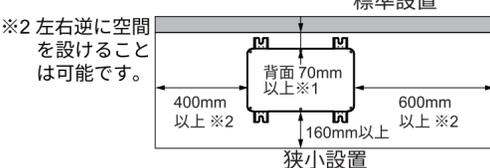
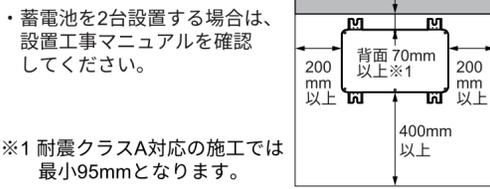
・本紙、設置工事マニュアルに記載のある簡易基礎を使用してください。

・簡易基礎は、コンクリート面への設置を推奨します。土の上に設置する場合は、必ず、設置面が沈み込まなくなるまでしっかりと填圧してください。

・左に書かれている同梱物、もしくは、指定のボルトで固定してください。

蓄電池本体の設置空間 (屋内 / 屋外)

- ・標準設置か、狭小設置を選択してください。
- ・メンテナンスのため、基礎高さが100mmの場合、高さ方向に1400mm以上の空間が必要となります。
- ・「背面」とは蓄電池本体と壁面までの距離です。以下のために必要です。
 - ①パネルの取り付け、取りはずし
 - ②蓄電池本体へのPF管取付けの作業性
 - ③ドライバー、ソケットレンチの作業性



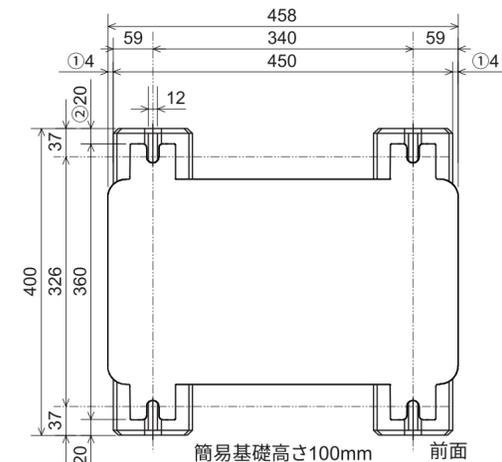
※1 耐震クラスA対応の施工では最小95mmとなります。

※2 左右逆に空間を設けることは可能です。

簡易基礎サイズについて

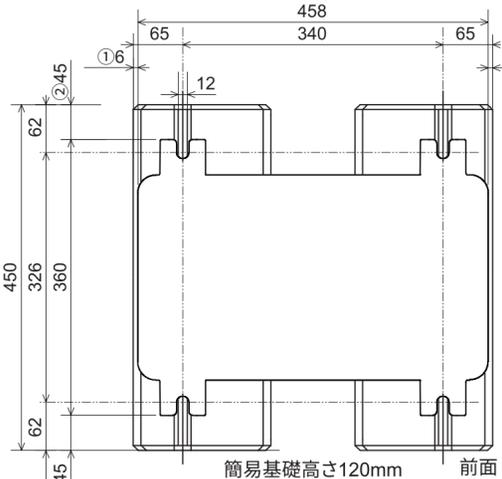
◆耐震クラスB対応施工、1階（地表）設置の場合

設計震度	製品名	メーカー	①凹み量	②はみ出し量
耐震クラスB 対応施工	ベースマン NBM400-12SH	株式会社 竹原電設	4mm	20mm



◆耐震クラスA対応施工、1階（地表）設置の場合

設計震度	製品名	メーカー	①はみ出し量	②はみ出し量
耐震クラスA 対応施工	エコ楽ブロック ER-450	株式会社 竹原電設	6mm	45mm



運搬手順

- 梱包を開梱してください。その後、スリングベルト（推奨品 樹テザック製 TBSE0.5TX3M）を下左図のように挿入してください。
- 下右図のように、各ベルトで輪通しをします。黒輪を白輪に通し、図のように白輪がパネルの横に位置した状態で黒輪を引っ張って、確実に固定してください。また、左右のベルトは互い違いになるように輪通しをおこなってください。

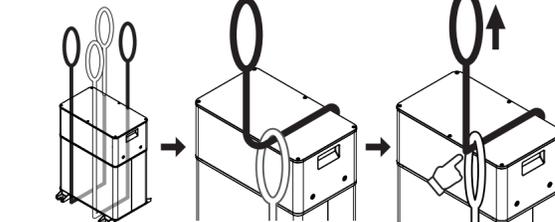


図 スリングベルトの挿入 図 スリングベルトの輪通し

- （※2本必要です。）
- 固定した後、黒輪を肩にかけます。また、以降の作業は、必ず2人で実施してください。スリングベルトがすべらないことを確認してください。
- 転倒に注意して持ち上げ、設置場所へ運搬してください。

注意

スリングベルトは、点検して使用してください。使用限度を超えると破損するおそれがあります。スリングベルトの取扱説明書を確認してください。破断し、製品落下のおそれがあります。

蓄電池本体の固定

・①-③から選択してください。

注意

設置面を水平にしてください。設置面が水平となっていない場合、蓄電池本体を設置できなかったり、設計通りの耐震強度が得られず、蓄電池本体が転倒したりする可能性があります。

①屋外設置で簡易基礎を使う場合

- 本紙、もしくは、設置工事マニュアルから、簡易基礎を選定してください。
- 簡易基礎に固定します。図を参考に4箇所固定してください。ナット（M12用）は、30±3N・m（276-337kgf・cm）のトルクで、確実に締め付けてください。

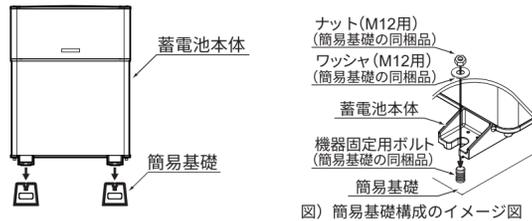


図 簡易基礎構成のイメージ図

②屋外設置で本基礎を使う場合

- 本基礎の基礎表面からアンカーボルト凸量25-30mmで施工してください。また、ナットは標準的なものを利用して、30±3N・m（276-337kgf・cm）のトルクで、確実に締め付けてください。
- フランジ付きナット・ゆるみ止めナットなどを使う場合は、アンカーボルトの凸量を、適宜、調整してください。

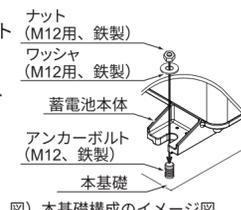


図 本基礎構成のイメージ図

③屋内設置の場合

- 設置面が木材の場合、屋内設置用金具を使用することで屋内に設置することが可能です。
- 右図1)のように、仮置きしてください。
- 下図2)のように、付属の木ネジ、角座金を使用して、屋内設置用金具を設置面（床材）に固定してください。必要に応じて下穴をあけてください。
- 下図3)のように、屋内設置用金具の上に蓄電池本体を置き、4隅の位置合わせをしてください。
- 下図4)のように、屋内設置用金具に付属の袋ナット、および、L型座金、丸座金で固定します。20N・m（204kgf・cm）のトルクで、確実に締め付けてください。

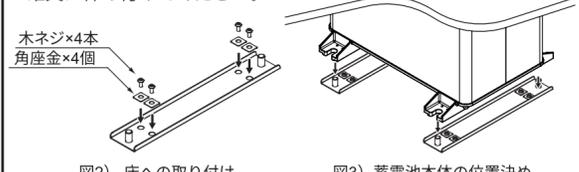


図1) 屋内での配置

図2) 床への取り付け

図3) 蓄電池本体の位置決め

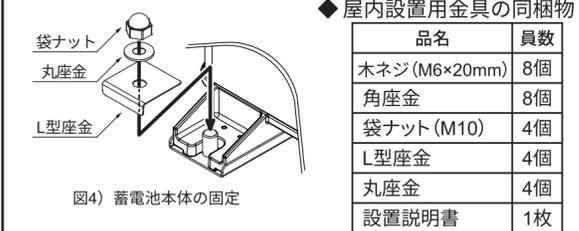


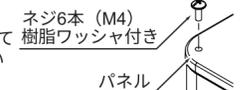
図4) 蓄電池本体の固定

◆屋内設置用金具の同梱物

品名	員数
木ネジ(M6×20mm)	8個
角座金	8個
袋ナット(M10)	4個
L型座金	4個
丸座金	4個
設置説明書	1枚

パネルの取りはずし

- ネジ6本をゆるめ、パネルを取りはずしてください。その後、パネルを傷つけないように保管してください。



注意

ネジの取りはずしの際は、回転方向に注意してください。誤って高トルクをかけると、摩擦熱が生じ、ネジ部が膨張して焼き付けを起こす可能性があります。その場合パネルの取りはずし、取り付けができなくなるおそれがあります。

取りはずしたネジは保管してください。後で使用します。無くした場合、故障の原因となります。

ほこりや、過剰な水蒸気を入れないでください。故障の原因となります。

PF管の取り付け

- 本製品のPF管コネクタ取り付け口から、輸送用ゴムキャップを2個取りはずしてください。この輸送用ゴムキャップは、梱包材の一部であり、防水性能や、耐油性などはありません。

- 配線保護のために、PFD管（PF管の一種。内径28mm）、およびそれに対応した防水コネクタ（適合穴径φ34mm）を使用してください。コネクタによっては、水の浸入を防ぐために別売りの部材が必要となる場合があります。詳しくはPFD管の商品仕様を確認してください。
- なお、屋内設置においては、PF管コネクタは「防水タイプ」必須ではありません。
- 下図のようにPFD管の最も下になる位置に、水抜き穴（φ5mm程度）をあけるようにしてください。これらの処理は万一、PFD管内に水が入ってしまった場合に、蓄電池本体への水の浸入を防止するために必要となります。また、屋内設置の場合、PF管のループや水抜き穴は不要です。

注意

蓄電池本体からは必ず2つの配線穴を使用して、電力線（低圧配線）と通信線（弱電流線）を分けて配線をおこなってください。電気設備技術基準を満たすために必要となります。故障のおそれがあります。

PF管の屈曲はその内側の半径（例 ループ半径）が管内径の6倍以上となるようにしてください。水浸入のおそれがあります。

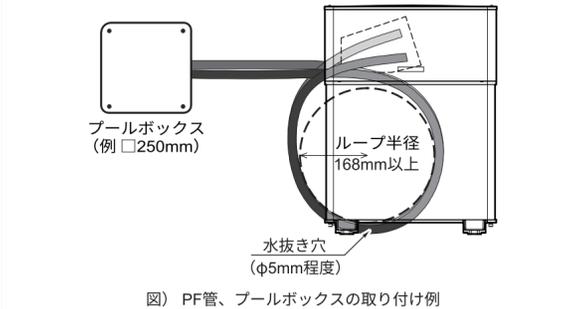
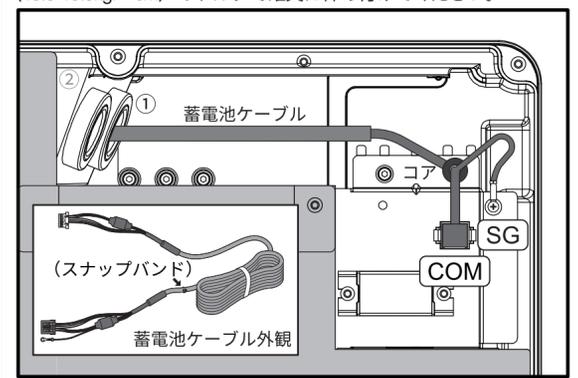


図 PF管、プルボックスの取り付け例

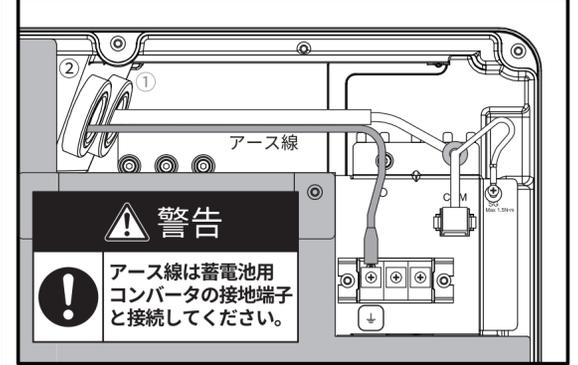
配線作業

- 配線作業の前に、蓄電池コントローラーのブレーカーがOFFであることを確認してください。
- 蓄電池ケーブル（通信線）の接続
 - 蓄電池ケーブル（別売品）の施工をします。ケーブルは下側のPF管①を通してください。下図の「COM」でコネクタを接続してください。
 - ケーブルの丸端子を「SG」の位置で固定してください。1.3-1.5N・m（13.3-15.3kgf・cm）のトルクで確実に締め付けてください。



◆アース線の接続

- アース線（現地調達品）の施工をします。まず、線の先端を付属の圧着端子（RNB5.5-5）を使用して、端子加工処理をおこなってください。
- 下図の位置で接続します。アース線は上側のPF管②を通してください。2.5N・m（25.5kgf・cm）のトルクで確実に締め付けてください。
- アース線の他方は、蓄電池用コンバータの接地端子に接続してください（右上の◆蓄電池用コンバータ側の接続を参照）。

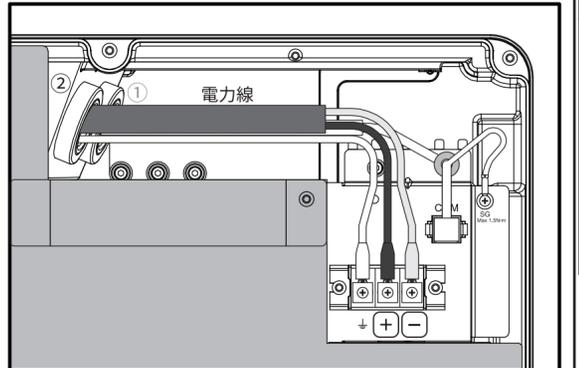


警告

アース線は蓄電池用コンバータの接地端子と接続してください。

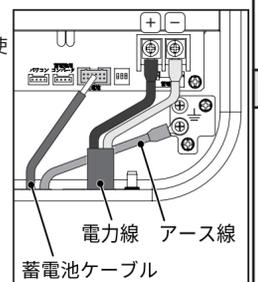
◆電力線（DC）の接続

- 電力線（現地調達品）の施工をします。まず、線の先端を付属の圧着端子（RNBS8-5）を使用して、端子加工処理をおこなってください。
- 下図のように接続します。電力線は上側のPF管②を通してください。2.5N・m（25.5kgf・cm）のトルクで確実に締め付けてください。



◆蓄電池用コンバータ側の接続

- 以下は、蓄電池用コンバータ（JH-WDT11）1台目の例となります。他のモデルは、各製品の設置工事マニュアルを確認してください。
- アース線（現地調達品）の施工をします。線の先端を蓄電池用コンバータ付属の圧着端子（5.5mm²用）を使用して、端子加工処理をおこなってください。その後、2.0N・m（20.4kgf・cm）のトルクで確実に締め付けてください。
- 電力線（現地調達品）の施工をします。線の先端を蓄電池用コンバータ付属の圧着端子（8mm²用）を使用して、端子加工処理をおこなってください。その後、2.0-2.4N・m（20.4-24.5kgf・cm）のトルクで確実に締め付けてください。
- 蓄電池ケーブル（別売品）の施工をします。右図の位置でコネクタを接続してください。
- 蓄電池本体を2台接続する場合は、設置工事マニュアルを確認してください。

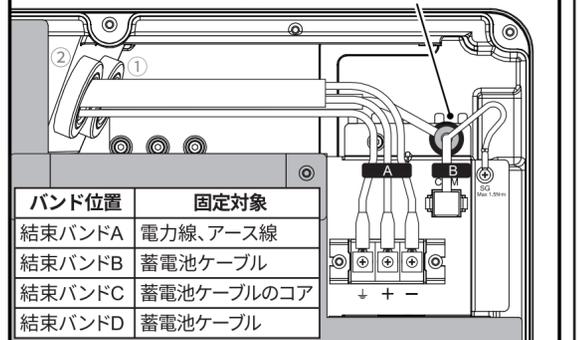


各ケーブルの固定

- 結束バンド（4本）で固定します。図のA,B,C,Dで、各ケーブル・コアを固定してください。（この固定は、電力線・アース線と、通信線の素線の接触防止のために必要です。）

蓄電池ケーブルに付随しているスナップバンドは、本製品では使わないでください。

C:コアを固定、D:蓄電池ケーブル（コアの下）を固定



結線状態の確認

- 上図を参考に、正しく接続されていることを確認してください。
- また、端子台全面に圧着端子が密着していること、引っ張ったり曲げたりしても圧着端子が動かないことを確認してください。締付け完了後は、必ず増し締めをおこなってください。
- 必ずPF管2個を使用して、ケーブルを分けて通してください。ノイズによる機器の誤動作を防止し、電気設備技術基準を満たすために必要です。

注意

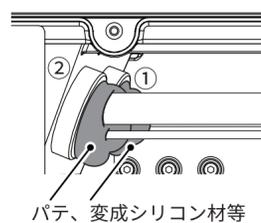
ケーブルが抜けないことを確認してください。動作不良や故障の原因となるおそれがあります。

配線部のパテ埋め

- 配線接続終了後、蓄電池本体への湿気の浸入を防ぐために、PF管用コネクタと配線の隙間をパテ、変成シリコン材等で埋めて、蓄電池本体を塞いでください。

警告

蓄電池本体の配線口は、内部への水分の浸入を防ぐため、ケーブルとケーブルの間も含めて隙間なくパテ、変成シリコン材等（※）で塞いでください。結露発生の原因となる室内の温かく湿った空気や、外部からの水分、腐食性物質が蓄電池本体内部に入ると内部の部品が腐食、短絡し、感電・発火・発煙・機能障害に至るおそれがあります。※開口部を埋める部材には、低分子シリロキサンを含まない部材、あるいは、低分子シリロキサン低減タイプの部材を使用してください。水浸入のおそれがあります。



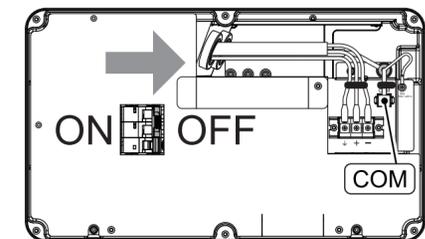
設置工事後の処理

必ずご確認ください

- ◆設置工事後、連系開始日まで1週間以上期間がある場合の処置（設置工事が完了せずに一旦作業を終了する場合を含む）
- ・以下を実施してください。

注意

- 蓄電池システムを停止するために、蓄電池本体で以下の作業をおこなってください。
- ①蓄電池コントローラーのブレーカーがOFFであることを確認する。
- ②「COM」と記されたコネクタをはずしてください。①②を行わずに長時間放置した場合、蓄電池モジュールが過放電になり動作しなくなります（復旧できません）。



- ・パネルを閉める前に、以下を再確認してください。

- A) 蓄電池本体内部に腐食、汚れ、水の浸入がないこと。
- B) 誤配線、電線・端子の腐食、変形、損傷がないこと。
- C) 各ケーブルの被覆が端子台にかみ込んでいないこと。
- D) 各ケーブルがパネルを閉める際にかみ込んでいないこと。
- E) パネル裏面のパッキンにゴミ、埃等が付着していないこと。
- F) 電線をそのまま端子台へ固定していないこと。（圧着端子の使用は必須です。）
- G) PF管の取り付け、配線部のパテ埋めが確実にされていること。
- H) パネルが隙間なく確実に閉じることができること。

パネルの取り付け

- ・下図のように、6カ所のネジでパネルを取り付けてください。ネジは、1.5N・m（15.3kgf・cm）のトルクで確実に締め付けてください。締め付け過ぎの場合は、ネジを破損するおそれがあります。

